

第 37 回総合治水ワーキングチーム会議の協議結果

日 時 平成 18 年 5 月 16 日 (火) 13:30~21:00
場 所 宝塚市男女共同参画センター (ソリオ 2)
出席者 (委員) 松本 (誠)、奥西、川谷、畑、村岡、岡田、加藤、佐々木、田村、中川、
浅見、伊藤、草薙、酒井、谷田、土谷
(河川管理者) 田中、森田、渡邊、前川、前田、西村、合田
(河川整備課) 寒川
(事務局) 林、長尾、植田、木本

内 容 (協議結果)

1 総合治水対策の検討

(1) 整備計画における貯留施設の検討

「整備計画における貯留施設の検討」等の資料について、河川管理者から説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。

青野ダムについては、事前放流時間をさらに延長した場合の治水効果量と濁水リスクについて検討する。

千苅ダムについては、土木遺産として堰堤等を残すこと及び利水への影響と対策は別途の課題とすることを前提に、最大限の治水効果をもつ多目的ダムに改造することを検討する。

丸山ダムについては、放流を最適化するための改造を行う前提で、事前放流等による治水効果を検討する。

その他の既存ダムについては、治水効果量が小さいこと等から、検討の対象としない。

中流域での遊水地候補地について、治水効果量の検討を行う。

(2) 整備計画における流域対策の検討

「整備計画における流域対策の検討」について、河川管理者から説明があり、協議した結果、下記のことを確認した。

施設の設定は、1/20降雨 (オリフィス等 1/20 最適化) あるいは 1/30 降雨 (オリフィス等 1/30 最適化) とする。

整備計画に盛り込む治水効果量は、「実現可能な対策」ではなく、「めざすべき目標」として次の通り設定する。

- ・ 「学校」、「公園」: 100%
- ・ 「ため池」: 50%
- ・ 「水田」については、年間の操作頻度等を考慮した上で、今後改めて検討する。

流域対策を推進するための具体の仕組みを委員会で提案する。

(3) 生物およびその生息環境の持続に関する原則

「武庫川水系に暮らす生き物およびその生息環境の持続に関する原則の提案」について、浅見委員から説明があり、継続協議することとなった。

2 その他

(1) 次回以降の会議の協議事項

総合治水対策

(2) 今後の日程(開催日時)

第38回	5月19日(金)	13:00~17:00
第39回	5月23日(火)	13:30~
第40回	5月30日(火)	13:30~
第41回	6月6日(火)	13:30~
第42回	6月13日(火)	13:30~

当日配付資料

資料 1-1 整備計画における貯留施設の検討

資料 1-2 整備計画における流域対策の検討

資料 1-3 整備計画における新規ダム代替案の検討

資料 1-4 第41回武庫川流域委員会 2006/5/12 集約メモ

資料 1-5 基本高水、整備計画、ダムの位置づけ発言整理

資料 2 武庫川水系に暮らす生き物およびその生息環境の持続に関する原則の提案
(浅見委員)